

# 令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和6年度の振り返りと令和8年度の取組検討）

施策No	232	施策名	歴史・文化資源の保存と継承	施策の目的	● 文化財を適切に保存・継承し、後世に残します。 ● 郷土の歴史・文化資源への関心を醸成し、理解を深め、後世に残します。
関係課	文化財課、文化推進課				

## 1. 進行管理

### (1) 指標の実績・考察と目標年度（令和7年度）の目標値達成見込み

	指標	単位	実績値				見込値	目標値	最終年度（R7）の目標値達成見込	R 6 年度の実績説明・考察 及びR7目標値達成見込判断の理由
			R2	R3	R4	R5				
a	適切に保存・継承されている指定等文化財件数（累計）	件	270	269	269	274	274	274	278	④現在の想定では目標達成が困難
b	歴史・文化資源関連のボランティア養成講座やボランティア活動参加人数（単年度）	人	120	228	347	703	732	768	1,200	④現在の想定では目標達成が困難
c										
d										

### (2) 構成する事業事業の昨年度（令和6年度）の取組結果 ※効果が上がった、下がったの判定は、事業効果を説明する指標のR 5との比較となります。

#### ①施策関連区分A（実施計画事業）

##### 【効果が上がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）			効果説明		
				R4	R5	R6	R4	R5	R6
1	唐沢山城跡保存整備事業	各種整備の実施	件	1	1	1	21,381	10,924	16,820
		講演会・講座等の参加者	人	3	255	400			

##### 【効果が下がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4	R5	R6	R4	R5	R6	事業費（単位：千円）	効果説明

#### ②施策関連区分B（実施計画事業以外）

##### 【効果が上がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	事業費（単位：千円）			効果説明			
				R4	R5	R6	R4	R5	R6	
3	葛生化石館企画展等開設事業	企画展開催期間中入館者数/市人口	%	11.9	10.5	14.7	133	119	398	企画展開催期間中入館者数は前年度より増えたが、内容に満足した入館者の割合・講演会参加者は減少した。
		期間中入館者数前年度対比	%	138.4	88.1	137.6				
4	葛生化石館講座等開設事業	受講者数/市人口	%	0.6	0.7	1.0	102	40	135	受講者数が前年度より増え、市民に対する割合も増えた。
		受講者数前年度比	%	245.7	128.4	129.2				
8	博物館協議会運営事業	意見・助言数	件	20	21	26	99	106	91	予定通り年2回会議を開催し、多くの意見をいただいた。
		開館日数／開館予定日数	%	100	100	100	191	191	191	予定通り開館できた。
14	郷土資料保存三好館運営事業	来館者数	人	53	30	72				
		市内にある国・県・市指定等文化財数	件	269	274	274	200	85	400	文化財件数について、増減はなかった。 佐野市の伝統文化や文化財を大切にしたいと思う市民の割合
16	指定文化財保存修復支援事業	佐野市の伝統文化や文化財を大切にしたいと思う市民の割合	%	89.1	87.7	89.6				佐野市の伝統文化や文化財を大切にしたいと思う市民の割合は増加した。
		入館者数/市人口	%	14.4	14.4	19.8	3,513	3,652	4,512	入館者数・広報紙等掲載回数ともに前年度より増えた。
19	葛生化石館運営事業	広報紙・情報誌等掲載回数	回	44	39	49				
		入館者数/市人口	%	5.1	5.3	8.5	6,488	7,295	8,113	入館者数が前年度より増え市民に対する割合も増えた。
21	葛生伝承館企画展等開設事業	企画展開催期間中入館者数/市人口	%	5.1	5.3	8.5	157	171	168	企画展開催期間中入館者数が増加した。
		期間中入館者数前年度対比	%	109.7	101.6	160.3				

##### 【効果が下がった事業】

No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4	R5	R6	R4	R5	R6	事業費（単位：千円）	効果説明
17	田中正造旧宅一般公開支援事業	年間入場者数	人	861	1,548	1,140	978	941	838		コロナ渦も明け、入場者数も戻りつつある。
22	葛生伝承館講座等開設事業	講座を面白く感じた参加者/アンケート回答者	%	90.7	93.1	76.9	0	8	19		受講者数・面白く感じた参加者とも前年度より減少した。

### (3) 基本方針の取組状況

#### ①特に実績をあげている取組（計画初年度（令和4年度）以降の取組状況）

#### ②未着手等計画通りではない取組（及び今後の対応）

天明鑄物生産用具製造事業	・令和5年度に、文化庁・栃木県の指導を受けながら文化審議会に必要な資料を文化庁に提出した。 ・令和5年度に、栃木県の協力を得て、栃木県立博物館に国指定候補の生産用具等を寄託した。 ・文化審議会の審議を経て、令和6年3月21日に「佐野の天明鑄物生産用具及び製品」（1,556点）が国の重要有形民俗文化財に指定された。	・唐沢山城跡ガイダンス施設の設置については、整備・調査を進めながら施設の在り方を引き続き検討する。
唐沢山城跡保存整備事業	・令和5年度から石垣カルテの作成に着手した。 ・石垣の保護と眺望確保を目的とする樹木伐採等による植生整備を進めた。	

### (4) 令和6年度行政経営方針の取組状況

#### ①令和6年度行政経営方針

#### ②令和6年度行政経営方針の取組状況

・史跡唐沢山城跡の二の丸の石垣整備について、保存整備調査指導委員会の指導・助言を仰ぎながら、石垣カルテを作成するとともに、地盤調査を行い、石垣整備（修理）基本計画を策定する。	・保存整備調査指導委員会から、石垣整備（修理）基本計画策定よりも前に石垣カルテ作成を最優先で推進するよう指導・助言があつたことを受け、二の丸の予備診断の実施や、面数を増やして本丸東側の石垣カルテを作成した。
・史跡唐沢山城跡のガイダンス施設のあり方については、府内で調整を図りながら検討を進める。	・他市のガイダンス施設の情報収集を行つた。
・発掘調査や整備状況については、デジタル技術の活用を図るとともに、唐沢山のレストハウスや郷土博物館などで発信する。	・国指定史跡化10周年記念事業において、城跡全体の3Dモデルを作成し、郷土博物館で上映した。
・郷土博物館等の入館者の増加につなげるため、企画展や講座の開設に際して市民ニーズの把握と魅力的テーマを設け、話題性のある事業を企画し周知する。また、郷土の歴史・文化資源に対する理解を促進してもらうため、学校利用による体験学習を継続する。	・郷土博物館等で市制20周年記念企画展や関連の講演会を実施した。また、郷土の歴史・文化資源に対する理解を促進してもらうため、学校利用による体験学習を実施した。